

■耳の日を知っていますか？

「耳の日」は日本では読み方と形から3月3日と定められています。ところが、意外なことに世界的にも3月3日は「耳の日」となっています。一つはやはり形（3が耳（耳介）の形に似ている）からですが、もう一つの理由はグラハム・ベル（1847～1922）の誕生日に因んでいます。皆さんはグラハム・ベルを主に通信機器の発明家としてご存知だと思いますが、実は難聴者への支援家として、また補聴器の開発者としても大きな足跡を残しています。グラハム・ベルの母親が難聴者であったこともあり、難聴者への深い理解とともに、多くの支援を行いました。皆さんご存知のヘレン・ケラー（1880～1968）にサリヴァン先生を紹介したのもグラハム・ベルでした。

「耳の日」には日本耳鼻咽喉科学会が中心となって、全国で様々な企画や市民公開講座が開催されます。本県でも例年3月に日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会や日本中途失聴者の会等が共催で市民公開講座が開催されております。WHO（世界保健機構）でも「耳の日」として様々なイベントが企画されています。

■難聴と認知症が関係しているって本当ですか？

一昨年、認知症の発症リスクが最も高いのは難聴であるとの報告が出されました。まだ日本ではエビデンスを収集しているところで、日本人にも当てはまるか否かは明らかではありませんが、認知症の方に補聴器等の補装具を使用しない難聴者が多いことは実感されるところです。

WHOでもhearing（聴覚）をテーマの一つに指定しています。また、先日、難聴対策議員連盟からも難聴対策に関するステートメントが出されたところです。恐らく、補聴器の早期の装用開始は認知症発症を遅らせることは事実だろうと思われます。

■補聴器はどのように手に入れますか？

補聴器であれば何でもよいというものではありません。補聴器はあくまでも医療器具であり、人それぞれにあった補聴器や装用の仕方があります。まずは、耳鼻咽喉科（その中でも補聴器相談医となっている耳鼻咽喉科医がよりよいでしょう）を受診してください。難聴の有無、難聴の種類・程度・型を診断してもらいましょう。そのうえで、補聴器が必要となった場合は、「補聴器に関する診療情報提供書」を書いてもらいましょう。それを持って、認定補聴器技能者（テクノエイド協会認定）のいる補聴器販売店で補聴器を購入しましょう。補聴器は1台10万円以上する大変高額なものでもあります。補聴器販売店では販売までの試用や販売後のフォローアップ、補聴器相談医への返事等が義務付けられています。また、「補聴器に関する診療情報提供書」があれば、購入年の医療費控除の対象となります。くれぐれも、フォローアップのできない補聴器販売店からの購入（通信販売等）はしないようにしましょう。



茨城県医師会ホームページよりダウンロードいただけます。

URL <http://www.ibaraki.med.or.jp/>

検索 「茨城県医師会」 県民の皆様へ、健康いばらきをクリック！

